

幼稚園の考査の一つ「指示行動」。これは、先生の指示を聞いて、何かを届けに行ったり持ってきたりする考査です。意味もなく何度も練習させられると、子どもにとって「いやな」活動になってしまいます。でも、元々は「お母さんに頼まれた物を届けたり取ってきたりする」楽しい親子遊びで、そんな経験をしてきているかという親子関係を見る考査なのです。

本来の遊びを「受験」などに奪われることなく楽しんでみましょう。

【概要】 居間をお店に見立て、玄関やキッチン、寝室、脱衣場などに物を届けに行ったり取ってきたりするお店屋さんごっこです。（風呂場など危ない場所は使わないようにしましょう。）

【遊び方】 ①届ける物を居間に幾つか用意します。

届ける物は、考査でよく使われる果物の遊具などがよいでしょう。

手ごろな大きさと軽く、また落としても割れないので安全です。

②届ける先にぬいぐるみを置いておきます。

これも考査でよく使われる、クマ・ウサギ・リスなどがよいでしょう。よく知っている動物なので記憶しやすく負担も軽くなります。



③居間をお店屋さんに見立てて開始。

レベル1

「お母さんが店長さんです。店員さんをお願いします。玄関にクマさんがいるから『これ』を届けてきてください。」と言って届けさせたい物を手渡します。同じ要領で他の物を届けさせます。

届け終わったら、親子で回収に行きます。

この時、正確に届けられているかどうか確認できます。間違っても指摘したり訂正したりすると意欲をなくしますのでやめましょう。

レベル2

『これ』と言って渡していましたが、レベル2では「ミカンを」などと言って、聞いた物を選び取り、届けに行くようにさせます。

「今度は私（僕）が店長さんやる。」と言ったら交替してあげましょう。

レベル3

届け先は1か所にし、そこに3匹全ての動物を置いておきます（1mくらい離して）。そして、最初はレベル1のように「お父さんの部屋に行って『これ』をクマさんに届けてきてください。」と指示を出します。

部屋に行くとクマのほかにウサギもいて、うっかりすると違う方に届けてしまいます。

レベル4

2歳ならレベル3まで、3歳なら届ける物の個数を2つか3つに、4歳なら届け先を2種類にして1つずつ。慣れてきたら同じものを「リスさんに2つ、クマさんに3つ」これもできるようだったら最難関の問題、「リスさんにミカンを2つ、クマさんにリンゴを3つ」のように複雑にします。

④考査にはあまり出ませんが、動物の所に置いてある果物を取ってくる遊びに発展させることができます。